

## (2) パネルディスカッションの概要

### 1) パネリスト挨拶・意見交換

#### ①小林氏

- ・明治時代には、人の行動半径は 500m 以内（およそ小学校区）であった。行動半径が広がった現代において、地縁的なつながりを復活させていく取組みが必要である。
- ・新潟モデルともいべき取組みが、今の日本が抱えているソーシャルキャピタルの衰退に対して先進的な事例となることを期待したい。
- ・地域コミュニティというものはアイデンティティである。そのアイデンティティのコアになっているものは、日本では小学校である。
- ・地域コミュニティ活動を継続させていくための第 1 段階は活動してためになること、第 2 段階はやって楽しいということ、第 3 段階はお金になることである。

#### ②山重氏

- ・地域の空洞化により、地域社会の活力を失わせ、自分たちの町を自治する気力を低下させてしまう。
- ・行政に代わって、住民が自らの地域を経営するという意識が必要である。
- ・学校はたぶん一番大事な地域の社会資本だと思う。
- ・学校を地域の皆が活用できる場所とするためには困難が予想されるが、リーディングプロジェクトとして新潟ならではの役割を期待したい。

#### ③田村氏

- ・都市化に伴い個人や世帯の自立力は上がっているが、自律力は低下している。
- ・自律力を上げるためには、個人や家族が連帯して生きていく力が必要である。自律力と連帯力が総合して初めて住民力が実現するのではないか。
- ・住民力の結集先、組織先を地域コミュニティ協議会とし、住民がもともと組織力のある行政と対等な立場に立つことが新潟モデルである。
- ・自分たちの地域はどういうものかということを実感しない限り連帯力や住民力を上げていこうという気持ちにはならないと思う。自分の地域を見直すことが求められている。
- ・自分たちの地域を見直すためには、外からの力を借りることがよいのではないかと考える。

#### ④曾我氏

- ・地域コミュニティ協議会ができてからは、関係団体を取り込んで横断的な地域活動ができるようになった。
- ・若い人や婦人を呼び込むためにはワークショップがよい。横断的な話し合いのなかでいろいろな地域活動に波及してゆく。これが住民力だと思う。
- ・地域の拠点をなんとしてもつくりたい。学校の空き教室があればこれを生かしたい。
- ・恵まれた人材を見つけ出してどんどん地域に引っ張り込みたい。また、企業とも連携したい。
- ・行政にお願いしたいのは、きっかけ作り。機会を作ってほしい。

⑤篠田氏

- ・非常時には行政に力がないことを、市民の皆様に平時からお伝えしておくべきと思う。
- ・地域コミュニティ協議会は、地域の幅広い分野で活動される方が一緒のテーブルにつくことによって、地域のプラットフォームになると思う。
- ・地域における学校は大切な存在であると思う。地域コミュニティの核は小学校であるということは言うまでもない。

## 2) キーワードの発表

①小林氏

「学習」：人間一生学習である。これを全員が自覚して、気のおけない仲間や近くのお友達と  
いろいろ勉強する機会をもってもらいたい。

②山重氏

「起」：野心的にまちづくりをすれば、それ自体楽しいし、まちは間違いなく起きてくる。

③田村氏

「自助（自分を律する）、互助（地域の力を見直す）、共助（外からの力をかりる）、公助」：  
自助の目標は自分を律することである。連帯を二つに分けて互助と共助とする。互助につ  
いては地域の力を見直していただき、そのためには共助、ぜひ外からの力を借りていただ  
く。自助・互助・共助の3つで住民力を高めながら公助と一緒に協働していきたい。

④曾我氏

「愛」：地域に対する愛。愛を持って思いやりを持ってやると、例えば出会いがあったり、ふ  
れ合いがあったり、めぐり合い、励まし合い、助け合い、喜び合って、支え合い、分  
かち合って信じ合い、最後にどつき合う。

⑤篠田氏

「新しい公を創る」：地域コミュニティ協議会では、地域で必要とされることを運動、活動す  
ればよい。行政が地域コミュニティ活動の先行事例を紹介することで、  
地域コミュニティ協議会を中心とした新しい公作りにつながると思う。

## 3) まとめ（蓑原氏）

- ・パブリックという概念はガバメントではないのに日本人はパブリック＝官と考えてしま  
うが、パブリックは、ジャーナリスト、NPO、企業等、全部がパブリックの一翼を担って  
るのであって、その一部に官があるに過ぎない。
- ・自助・共助・公助、そこに官がどういう形で入るのか考える時期ではないか。
- ・このフォーラム参加者に女性の方や若い人が少ない。今後はそういう人を巻き込んで幅広  
く地域コミュニティ活動を推進させることを宿題にしたい。